

社会情報研究資料センターニュース

第 35号 (2025. 3 月)

目次

社会情報研究資料センターの所蔵資料を紹介	五十嵐裕一	1
センター情報		7



高輪鉄道蒸気車之全図 [小野秀雄コレクション錦絵]

社会情報研究資料センターの所蔵資料を紹介

五十嵐裕一

1964年1月に当時の新聞研究所に開室された「プレスセンター」以来、綿々と収集されてきた新聞を中心とする各種資料を簡単にご紹介いたします。資料のひとつひとつは過去の一点の記録ですが、集積することで点が点描になり、2次元、3次元の足跡・軌跡として時間の流れが見えるようになるのだと思います。

資料の利用は予約制となっています。利用については社会情報研究資料センターの利用案内のページ (<https://www.center.iii.u-tokyo.ac.jp/guide/>) を参照してください。

新聞原紙

新聞研究所時代から伝わる新聞の原紙（発行された新聞そのもの）を保存しています。「都新聞」「萬朝報」など明治期からの新聞があるのが特徴です。100年以上の時を経たものや、戦中戦後など紙質が低下していた頃のものには劣化が進んでおり、開くだけで紙面の端が破損していく状態です。このため、研究などで必要とする場合以外は縮刷版や復刻版、マイクロフィルムなどの複製版をご利用ください。

所蔵しているタイトルは 社会情報研究資料センター所蔵目録

<https://www.center.iii.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/user-mokuroku-1.pdf> を参照してください。

複製版（縮刷版・CD-ROM、DVD・復刻版・マイクロフィルム）

新聞原紙が「大きい」「かさばる」などの理由で必ずしも長期保存に適した形ではないため、原紙を縮小コピーしてまとめたものが縮刷版です。紙媒体で作成されたものは図書館でもよく見かけます。また、紙面を画像として電子化したものや記事をテキストデータ化して電子媒体（CD-ROM、DVD）にまとめたものもあります。縮刷版は新聞の発行元が作成することが多いです。これとは別に、主に発行元以外が作成するものには復刻版、マイクロフィルム版があります。復刻版は現存する新聞原紙をコピー・写真撮影したものを、多くの場合は発行されたときの大きさを印刷して出版したものです。元となった新聞原紙の状態（紙の劣化・製本状態など）によって欠けや影などで判読が難



『国民新聞』 第2号（明治23年2月2日）



『時事新報』 第1号（明治15年3月1日）



縮刷版



マイクロフィルムとその箱

しい部分がある場合があります。マイクロフィルム版は紙ではなくマイクロフィルムに焼き付けたもので、コンパクトに保存できるのが特徴です。

ただ、CD-ROM、DVD やマイクロフィルムは相応の機器無しでは利用できません。また、CD-ROM、DVD では用意された検索ソフトウェア・閲覧ソフトウェアが最新のOSでは動かせない場合があります、マイクロフィルムは閲覧

のための機器の製造・保守が先細りなのも心配です。さらにマイクロフィルムは保存環境（温度・湿度・換気）に気を付ける必要があり、維持にコストがかかる点も難点といえ難点です。

新聞コレクション

あるテーマに沿って構築された新聞紙面の集成です。こ



『河北新報』 大正 12 年 9 月 3 日



『上毛新聞』 大正 12 年 9 月 3 日

ここでは主なものを紹介します。

震災関係

関東大震災（1923年）、阪神淡路大震災（1995年）、東日本大震災（2011年）の各大震災についてまとめたコレクションです。何が起り、どのくらいの被害が発生し、社会や人々がどう行動したか、そしてそれらがどのように報道されたかを見ることができます。地震は自然現象ですが、災害はそこにある人間の生活や社会が壊れてしまう現象です。人々の心理や不適切な行動・対応が被害を広げてしまうということなど、将来への教訓になる意義あるコレクションです。

旧ソ連

ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）

ペレストロイカの時代（おおよそ1988～1991）、グラスノスチ（情報公開）政策によって言論・出版の自由化が推進されていた頃の新聞コレクションです。「帝国」とまで呼ばれたソ連が短期間のうちに崩壊していく時期の社会変化を研究するために役立つコレクションとなっています。

ソ連末期小新聞：40タイトル

ソ連崩壊前の激動の時代（1980年代末から1990年代前半）にかけて、ソ連の街角で発行・配布されていた小新聞を集めたものです。40タイトルのリストは

https://www.center.iii.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/soviet_newspapers.pdf を参照してください。

ペレストロイカ・ソ連終焉期新聞：28タイトル

東京大学社会科学研究所ソ連部門が同時代のロシアの歴史社会変化の研究のために収集した資料です。28タイトルのリストは

<https://www.center.iii.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/perestroika.pdf> を参照してください。

新聞号外

号外は通常発行されるものとは別に、大きな事件を伝えるために発行される発行順序の番号体系から外れた臨時の紙面です。以前は有楽町や渋谷、梅田や難波など繁華街での手配りしかありませんでしたので、「そこにいた人しか

手に入らない」ものでしたが、最近ではPDF版を出す新聞社もあって入手性は良くなってきています。

所蔵状況は次のとおりです。

ロッキード事件判決(1983(昭和58)年10月12日発行)

インド・ガンジー首相暗殺

(1984(昭和59)年10月31日発行)

大阪環状線・過激派放火ゲリラ

(1985(昭和60)年11月29日発行)

昭和天皇崩御(1989(昭和64)年1月7日発行)

新元号は「平成」(1989(昭和64)年1月7日発行)

新元号決定「令和」

(2019(平成31)年4月1日発行)：19紙

鈴木英雄氏旧蔵「すがも新聞」関連資料（貴重資料）

「すがも新聞」原紙 1-119号（1948年6月5日～1950年9月23日）

The way of deliverance : three years with the condemned Japanese war criminals

「すがも新聞」は巣鴨プリズンに収容されていたBC級戦犯が編集・発行していた獄中紙です。全部で1948年6月5日から1952年3月29日まで193号が発行されていますが、資料センターには1-119号の原紙が所蔵されています。「The way of deliverance」はその付随資料で、巣鴨拘置所の教誨師（きょうかいし）がA級戦犯処刑に立ち会った際の記録図書「平和の発見」の英訳版です。

いずれも発行に携わっていた鈴木英雄氏の旧蔵書であり、ご親族の方からご恵贈いただいたものです。

内容等詳しくは、下記のセンターニュース33号の記事を参照してください。

https://www.center.iii.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/33_all.pdf

－鈴木秀雄氏旧蔵「すがも新聞」関連資料の寄贈受入れについて（p.5）

－「すがも新聞」、The Way of Deliverance、と父鈴木秀雄／鈴木美穂子（p.5）

貴重資料

小野秀雄関係資料

新聞研究所の初代所長である小野秀雄（1885-1977）が収集した資料群で、「研究資料」（新聞や雑誌類、本人によ

る草稿やメモなど)と「コレクション」(地震や火事などの災害報道を中心としたかわら版、錦絵、新聞錦絵)の2つからなります。資料のひとつひとつが先生の新聞学への情熱の欠片であり、現在でも貴重な資料群となっています。

コレクションの概要と利用については、東京大学情報学環・学際情報学府図書室のページ <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/material/collection.html#ono> を参照してください。

「研究資料」は約 4400 件、「コレクション」は約 1000 件

が整理・保存されています。内容は「小野秀雄関係資料目録」(冊子体)

または「Digital Cultural Heritage」で

「小野秀雄コレクションかわら版」[https://dch.lib.u-tokyo.ac.jp/search/?filter\[o:item_set.in\]=o_col_k&sort=o:sort](https://dch.lib.u-tokyo.ac.jp/search/?filter[o:item_set.in]=o_col_k&sort=o:sort)

「小野秀雄コレクション新聞錦絵」[https://dch.lib.u-tokyo.ac.jp/search/?filter\[o:item_set.in\]=o_col_sn&sort=o:sort](https://dch.lib.u-tokyo.ac.jp/search/?filter[o:item_set.in]=o_col_sn&sort=o:sort)

「小野秀雄コレクション錦絵」[https://dch.lib.u-tokyo.ac.jp/search/?filter\[o:item_set.in\]=o_col_n&sort=o:sort](https://dch.lib.u-tokyo.ac.jp/search/?filter[o:item_set.in]=o_col_n&sort=o:sort)

を参照してください。



瓦版 (江戸本郷辺大火)



新聞錦絵 (歌舞伎新報 第二号)



錦絵 (地震よけの歌)

第一次世界大戦期プロパガンダポスターコレクション

サラエボ事件（1914）に端を発する欧州の戦争は当初短期決戦で終わると思われていました。しかし、次第に戦線が拡大し長期化します。そのため、戦争の遂行には国を挙げての対応が必要となり、国民に向けて戦争協力へのプロパガンダが実施されました。その時に使用されたポスターを集めたのがこのコレクションです。実際に収集したのは外務省情報部で、第二次世界大戦での総力戦への参考としました。戦後、不要となったため当時の新聞研究所に移されたといわれています。

コレクションの概要と利用については、東京大学情報学環・学際情報学府図書館のページ <https://www.lib.iii.u-tokyo.ac.jp/material/collection.html#ww1> を参照してください。



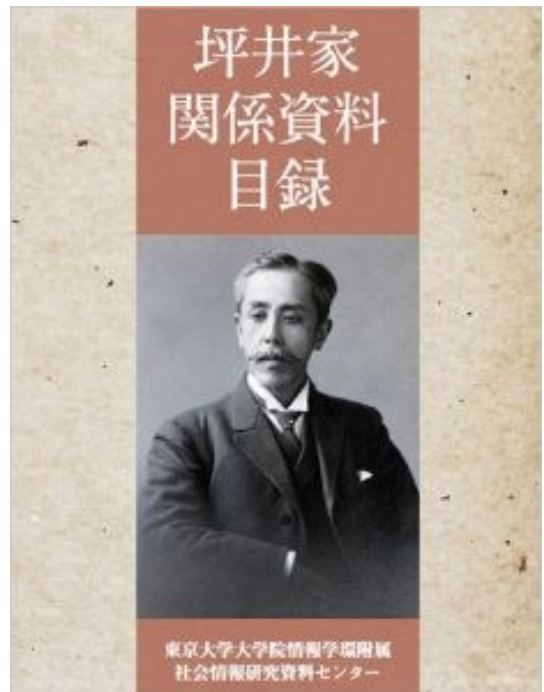
u-tokyo.ac.jp/material/collection.html#ww1 を参照してください。

資料数は661件。内容は「東京大学大学院情報学環所蔵 第一次世界大戦期プロパガンダ・ポスターコレクションカタログ・レゾネ」（冊子体）

または「Digital Cultural Heritage」[https://dch.iii.u-tokyo.ac.jp/search/?filter\[o:item_set.in\]=ww1&sort=o:sort](https://dch.iii.u-tokyo.ac.jp/search/?filter[o:item_set.in]=ww1&sort=o:sort)を参照してください。

坪井家関係資料

人類学者で東京帝国大学の人類学教室初代教授であった坪井正五郎家の関係資料です。坪井正五郎関係資料（本人



陸上の女性は国家が必要としていることに従事しています



アメリカ陸軍には、君が必要だ

によって作成されたスクラップ、スケッチ、メモ書きや写真など)、坪井信道・信良関係資料(蘭方医だった正五郎の祖父信道(1795-1848)と江戸幕府の奥医師を務めた父信良(1823-1904)の関係資料)が含まれます。

コレクションの概要と利用については、東京大学情報学環・学際情報学府図書室のページ <https://www.lib.iii.u-tokyo.ac.jp/material/collection.html#tsuboi> を参照してください。

資料数は約 7,500 件。目録情報は「坪井家関連資料目録」(冊子体)

または「Digital Cultural Heritage」で

「坪井信道・信良関係資料」[https://dch.iii.u-tokyo.ac.jp/search/?filter\[oitem_set.in\]=t_shin&sort=o:sort](https://dch.iii.u-tokyo.ac.jp/search/?filter[oitem_set.in]=t_shin&sort=o:sort)

「坪井正五郎関係資料」[https://dch.iii.u-tokyo.ac.jp/search/?filter\[oitem_set.in\]=t_syo&sort=o:sort](https://dch.iii.u-tokyo.ac.jp/search/?filter[oitem_set.in]=t_syo&sort=o:sort)

を参照してください。

大井第一小学校寄贈資料

東京都品川区大井第一小学校郷土資料室(現在は閉室)が所蔵した、昭和 30 年代を中心とした児童書、雑誌の付録漫画等のコレクションです。2010 年に当センターに寄贈されました。漫画・童話・小説など当時の小学生に親しまれた本がここにあります。

コレクションの概要と利用については、東京大学情報学環・学際情報学府図書室のページ <https://www.lib.iii.u-tokyo.ac.jp/material/collection.html#tsuboi>

[u-tokyo.ac.jp/material/collection.html#ooi](https://www.lib.iii.u-tokyo.ac.jp/material/collection.html#ooi) を参照してください。

資料数は 144 件。目録情報は「Digital Cultural Heritage」[https://dch.iii.u-tokyo.ac.jp/search/?filter\[oitem_set.in\]=oi&sort=o:sort](https://dch.iii.u-tokyo.ac.jp/search/?filter[oitem_set.in]=oi&sort=o:sort) を参照してください。

参考文献

吉見俊哉(2006)「コレクションと情報学環」『東京大学大学院情報学環所蔵 第一次世界大戦期プロパガンダ・ポスターコレクション カタログ・レゾネ』、pp.7-10

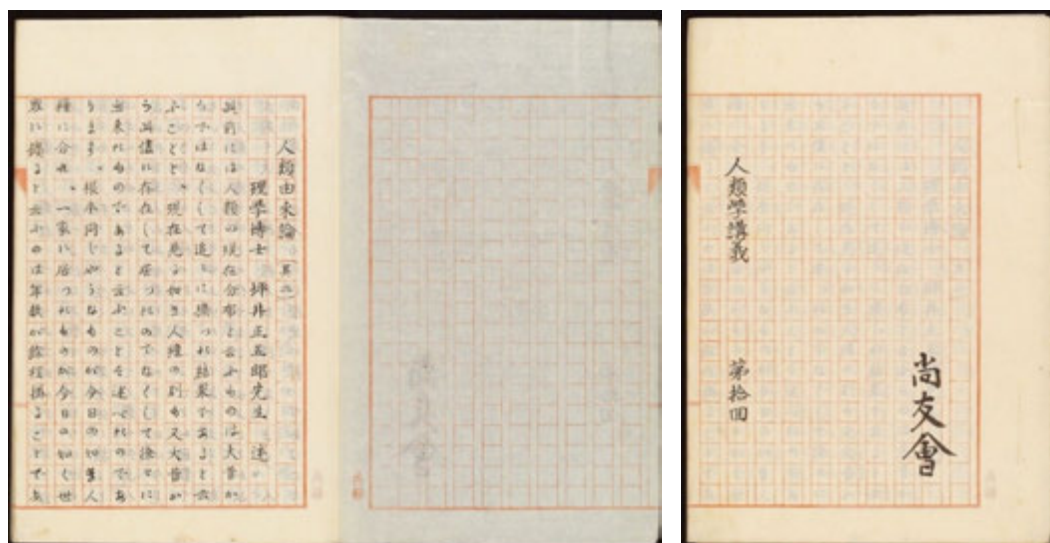
研谷紀夫(2012)「高度アーカイブ化事業と研究者資料のアーカイブズ - 小野秀雄関係資料と坪井正五郎資料の比較を中心に -」『小野秀雄関係資料目録』、pp.1-7

研谷紀夫(2012)「坪井正五郎関係資料におけるアーカイブズ情報の記録」『坪井家関連資料目録』、pp.12-20

社会情報研究資料センター 所蔵資料 新聞コレクション
(<https://www.center.iii.u-tokyo.ac.jp/holdings/newspapercollections/>)

社会情報研究資料センター 所蔵資料 貴重資料
(<https://www.center.iii.u-tokyo.ac.jp/holdings/rarecollections/>)

(いがらし ゆういち 東京大学情報学環・学際情報学府 図書チーム)



人類学講義 第拾回 (坪井正五郎)

センター情報

■社会情報研究資料センター長

令和6年度 石崎雅人(情報学環)

■社会情報研究資料センター運営委員会委員

令和6年度委員

石崎雅人(委員長 情報学環)

丹羽美之(副委員長 情報学環)

■令和6年度の資料利用サービス状況

快適な閲覧環境を提供するため、事前予約制で、1名ずつの利用を原則として資料利用サービスを提供している。